

2050年における北海道のあるべき姿について(修正版)

国土交通省北海道局

令和4年7月11日

第2回計画部会の委員の御意見を受け、分野・内容が類似している未来像を再編し、表現を適正化。

【未来像の再編】

分野・内容が類似している未来像を整理し、以下のとおり再編。

- ・農水産業に係る未来像⑧、⑨、⑳について、役割2(食料安定供給)に移動・整理。
- ・林業に係る未来像⑧、⑨、⑳について、役割3(脱炭素化を先導)の未来像㉑に統合・整理。
- ・観光に係る未来像⑩及び未来像㉔の観光部分について、役割6(競争力のある産業)の「観光」に移動・整理。
- ・未来像㉔のうち、自然環境に係る部分を役割4(自然環境・文化を受け継ぐ)のあるべき姿10(未来像㉘)に統合・整理(あるべき姿9(自然や文化を保全)から「自然や」を削除)。
- ・災害時の農水産物の安定供給確保(未来像⑯)について、役割5(強靱な国土づくり)の未来像㉓に統合・整理。
- ・役割4の未来像㉕(農山漁村固有の文化)について、未来像㉓に統合・整理。

上記再編に伴い、

- ・あるべき姿4(地域に活力をもたらす基幹産業)を削除(あるべき姿13→12)。
- ・未来像の集約(37→34)。

【表現の適正化】

上記再編を踏まえた各未来像の説明文の修正及び表現を適正化。

※あるべき姿及び未来像の番号は、すべて再編前の番号。

【再編前】あるべき姿・未来像(構造図)

2050年における北海道のあるべき姿 (13)→(12)

役割1 分散型国づくりを支える地方創生を先導する

あるべき姿1 地域で生まれ、育ち、安心して暮らしていくことのできる社会

あるべき姿2 国内外から人を引きつけるライフスタイル等

あるべき姿3 豊かな資源を活かして自立・循環する地域経済

あるべき姿4 地域に活力をもたらす基幹産業

あるべき姿5-4 経済・社会を支えるネットワークの確立

あるべき姿6-5 北方領土隣接地域の振興の実現

役割2 豊かな土地・水資源等を活かして我が国の食料安定供給を支える

あるべき姿7-6 高い食料生産力を有する農水産業・食関連産業

役割3 豊富な地域資源を活かして我が国の脱炭素化を先導する

あるべき姿8-7 脱炭素社会を実現し、再生可能エネルギー基地となる

役割4 国民共通の財産である北海道の自然環境・文化を受け継ぐ

あるべき姿9-8 北海道独自の自然や文化を保全し、受け継ぐ

あるべき姿10-9 豊かな自然と共生する持続可能な社会を創造

役割5 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりを図る

あるべき姿11-10 大規模災害から生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持し、我が国の食やエネルギーの供給等を支える

あるべき姿12-11 切迫する大規模災害に対応した被災リスクの分散

役割6 競争力のある産業を育成し日本の経済成長に貢献する

あるべき姿13-12 世界市場を見据えた「食」「観光」「再生可能エネルギー」産業の形成

未来像 (37)→(34)

- 未来像① 地方部において必要な生活機能を楽しむ
- 未来像② 圏域中心都市と地方部の市街地における豊かなコミュニティの再生・創出
- 未来像③ 日常生活において誰もが快適で容易に移動
- 未来像④ 人口減少に適応した社会システム・ライフスタイルに転換
- 未来像⑤ 地域を支える多様な人材・交流を確保
- 未来像⑥ 自立したエネルギーの地産地消による地域経済循環を構築
- 未来像⑦ 生産者と消費者がつながる地産地消の多様な仕組みを構築
- 未来像⑧ 多様な働き手がいつまでも働ける包容力のある農林水産業の実現
- 未来像⑨ 所得の倍増で新たな農林水産業の担い手を確保
- 未来像⑩ 地方部に年間を通じた誘客の実現
- 未来像⑪ 広大な北海道で効率的な交通ネットワークを確立
- 未来像⑫ 地域や遠隔消費地に必要なモノを届ける物流改革
- 未来像⑬ 地方部まで高度なデジタル基盤を確立
- 未来像⑭ 安定した地域社会の形成（北方領土隣接地域）
- 未来像⑮ 極限まで効率化した生産体制で生産力を向上
- 未来像⑯ 災害時にも農水産物の安定供給を確保
- 未来像⑰ マーケットインのフードシステムの確立
- 未来像⑱ エネルギー基地の確立
- 未来像⑲ 水素社会の実現
- 未来像⑳ 徹底した省エネルギー社会の実現
- 未来像㉑ CO₂吸収源としての機能を最大限発揮し、我が国の脱炭素化に貢献
- 未来像㉒ アイヌ文化の振興等を推進する
- 未来像㉓ 北海道が世界に誇る北の縄文遺跡、近代の開拓文化等を保全・継承
- 未来像㉔ 持続可能な観光が定着し、北海道の自然や文化の価値が向上
- 未来像㉕ 「食」「木」の理解を通じて農山漁村固有の文化を継承
- 未来像㉖ 環境負荷を軽減して生物多様性を保全する持続可能な農林水産業の実現
- 未来像㉗ 資源を最大限に利活用する循環型社会の形成
- 未来像㉘ 自然環境・景観の保全、グリーンインフラの活用による持続可能で強靱な国土の形成
- 未来像㉙ 気候変動や大規模地震・津波等に対して安全・安心な地域社会を構築
- 未来像㉚ 人流や物流の確保と災害からの速やかな回復
- 未来像㉛ 生産空間を守り基幹産業を災害時にも継続
- 未来像㉜ 積雪寒冷地特有の災害に対する脆弱性の克服
- 未来像㉝ 国家的規模の災害に対する被災リスクを最小化
- 未来像㉞ 世界市場に北海道ブランドを確立し、道産農水産物・食品の輸出を拡大
- 未来像㉟ 世界トップクラスの観光地を形成して世界市場に北海道ブランドを確立
- 未来像㊱ 再生可能エネルギー関連産業の成長産業化
- 未来像㊲ 地理的・気候的な優位性を活かした産業の創造

【再編後】あるべき姿・未来像(構造図)

2050年における北海道のあるべき姿(12)

役割1 分散型国づくりを支える地方創生を先導する

あるべき姿1 地域で生まれ、育ち、安心して暮らしていくことのできる社会

あるべき姿2 国内外から人を引きつけるライフスタイル等

あるべき姿3 豊かな資源を活かして自立・循環する地域経済

あるべき姿4 経済・社会を支えるネットワークの確立

あるべき姿5 北方領土隣接地域の振興の実現

役割2 豊かな土地・水資源等を活かして我が国の食料安定供給を支える

あるべき姿6 高い食料生産力を有する農水産業・食関連産業

役割3 豊富な地域資源を活かして我が国の脱炭素化を先導する

あるべき姿7 脱炭素社会を実現し、再生可能エネルギー基地となる

役割4 国民共通の財産である北海道の自然環境・文化を受け継ぐ

あるべき姿8 北海道独自の文化を保全し、受け継ぐ

あるべき姿9 豊かな自然と共生する持続可能な社会を創造

役割5 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりを図る

あるべき姿10 大規模災害から生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持し、我が国の食やエネルギーの供給等を支える

あるべき姿11 切迫する大規模災害に対応した被災リスクの分散

役割6 競争力のある産業を育成し日本の経済成長に貢献する

あるべき姿12 世界市場を見据えた「食」「観光」「再生可能エネルギー」産業の形成

未来像 (34)

未来像① 地方部において必要な生活機能を楽しむ

未来像② 圏域中心都市と地方部の市街地における豊かなコミュニティの再生・創出

未来像③ 日常生活において誰もが快適で容易に移動

未来像④ 人口減少に適応した社会システム・ライフスタイルに転換

未来像⑤ 地域を支える多様な人材・交流を確保

未来像⑥ 自立したエネルギーの地産地消による地域経済循環を構築

未来像⑦ 生産者と消費者がつながる地産地消の多様な仕組みを構築

未来像⑧ 広大な北海道で効率的な交通ネットワークを確立

未来像⑨ 地域や遠隔消費地に必要なモノを届ける物流改革

未来像⑩ 地方部まで高度なデジタル基盤を確立

未来像⑪ 安定した地域社会の形成（北方領土隣接地域）

未来像⑫ 極限まで効率化した生産体制で生産力を向上

未来像⑬ 所得の倍増で新たな農水産業の担い手を確保

未来像⑭ マーケットインのフードシステムの確立

未来像⑮ 多様な働き手がいつまでも働ける包容力のある農水産業の実現

未来像⑯ 環境負荷を軽減して生物多様性を保全する持続可能な農水産業の実現

未来像⑰ エネルギー基地の確立

未来像⑱ 水素社会の実現

未来像⑲ 徹底した省エネルギー社会の実現

未来像⑳ CO₂吸収源としての機能を最大限発揮し、我が国の脱炭素化に貢献

未来像㉑ アイヌ文化の振興等を推進する

未来像㉒ 北海道が世界に誇る北の縄文遺跡、近代の開拓文化等を保全・継承

未来像㉓ 資源を最大限に利活用する循環型社会の形成

未来像㉔ 自然環境・景観の保全、グリーンインフラの活用による持続可能で強靱な国土の形成

未来像㉕ 気候変動や大規模地震・津波等に対して安全・安心な地域社会を構築

未来像㉖ 人流や物流の確保と災害からの速やかな回復

未来像㉗ 生産空間を守り基幹産業を災害時にも継続

未来像㉘ 積雪寒冷地特有の災害に対する脆弱性の克服

未来像㉙ 国家的規模の災害に対する被災リスクを最小化

未来像㉚ 世界市場に北海道ブランドを確立し、道産農水産物・食品の輸出を拡大

未来像㉛ 世界トップクラスの観光地を形成して世界市場に北海道ブランドを確立

未来像㉜ 地方部に年間を通じた誘客の実現

未来像㉝ 再生可能エネルギー関連産業の成長産業化

未来像㉞ 地理的・気候的な優位性を活かした産業の創造

2050年における北海道のあるべき姿

○国の課題解決に貢献するために北海道が果たすべき6つの役割の下に、12の「あるべき姿」と、34の「未来像」によって2050年における北海道のあるべき姿を描いてはどうか。

北海道の役割1 分散型国づくりを支える地方創生を先導する

あるべき姿 1

地域で生まれ、育ち、安心して暮らしていくことのできる社会

あるべき姿 2

国内外から人を引きつけるライフスタイル等

あるべき姿 3

豊かな資源を活かして自立・循環する地域経済

あるべき姿 4

経済・社会を支えるネットワークの確立

あるべき姿 5

北方領土隣接地域の振興の実現

北海道の役割2

豊かな土地・水資源等を活かして我が国の食料安定供給を支える

あるべき姿 6

高い食料生産力を有する農水産業・食関連産業

北海道の役割3

豊富な地域資源を活かして我が国の脱炭素化を先導する

あるべき姿 7

脱炭素社会を実現し、再生可能エネルギー基地となる

北海道の役割4

国民共通の財産である北海道の自然環境・文化を受け継ぐ

あるべき姿 8

北海道独自の文化を保全し、受け継ぐ

あるべき姿 9

豊かな自然と共生する持続可能な社会を創造

北海道の役割5

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりを図る

あるべき姿 10

大規模災害から生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持し、我が国の食やエネルギーの供給等を支える

あるべき姿 11

切迫する大規模災害に対応した被災リスクの分散

北海道の役割6

競争力のある産業を育成し日本の経済成長に貢献する

あるべき姿 12

世界市場を見据えた「食」「観光」「再生可能エネルギー」産業の形成

2050年における北海道のあるべき姿

北海道の役割1 : 分散型国づくりを支える地方創生を先導する

北海道のあるべき姿1 : 地域で生まれ、育ち、安心して暮らしていくことのできる社会

未来像 ① : 地方部において必要な生活機能を楽しむ【地域づくり・まちづくり】

- ・デジタル技術の進展を契機に、弱点とされていた広域分散型の地域構造を、全てのサービスをインターネットで享受できる社会を実現することにより克服し、住み続けたい、住んでみたいと感じる北海道の豊かな暮らしの実現を目指す。

未来像 ② : 圏域中心都市と地方部の市街地における豊かなコミュニティの再生・創出【地域づくり・まちづくり】

- ・市街地に、医療・福祉・商業等のサービス機能が集積されるとともに、働く機会、特に、女性の働く場が確保されている。また、まちなかにおいて、様々な人々が出会い、交流し、滞在できる空間や拠点が形成され、豊かなコミュニティと活気を取り戻すことを目指す。

未来像 ③ : 日常生活において誰もが快適で容易に移動【地域づくり・まちづくり】

- ・自動運転の技術革新等により、通院、買い物等の日常生活に必要な移動が快適かつ容易にでき、持続可能な地域交通が実現されることを目指す。

北海道のあるべき姿2 : 国内外から人を引きつけるライフスタイル等

未来像 ④ : 人口減少に適応した社会システム・ライフスタイルに転換【地域づくり・まちづくり】

- ・多地域居住、テレワーク、兼業など多様な働き方やデジタル実装等の社会のニーズに応じた仕組み等人口減少に適応した社会システムへの転換、ライフスタイルが形成されることを目指す。

未来像 ⑤ : 地域を支える多様な人材・交流を確保【地域づくり・まちづくり】

- ・地域に住む高齢者・女性・移住者等多様な人材が地域の活動に協働すること、更に他地域の人々ともリアル及びデジタルの交流等が進展することにより、地域の活動人口の増加を目指す。

北海道のあるべき姿3 : 豊かな資源を活かして自立・循環する地域経済

未来像 ⑥ : 自立したエネルギーの地産地消による地域経済循環を構築【エネルギー】

- ・それぞれの地域において住民や地元企業の参加による再生可能エネルギーや廃棄物等を活用したエネルギーの地産地消の取組により脱炭素化を推進し、地域の雇用の創出と環境と経済の好循環が生まれることを目指す。

未来像 ⑦ : 生産者と消費者がつながる地産地消の多様な仕組みを構築【農林水産業・関連産業】

- ・地域農業の特徴に応じて、消費者と食とのつながりの深化により、生産者と消費者がコミュニケーションを取りながら地域で生産したものを地域で消費する多様な仕組みが構築されることを目指す。

2050年における北海道のあるべき姿

北海道のあるべき姿4 : 経済・社会を支えるネットワークの確立

未来像 ⑧ : 広大な北海道で効率的な交通ネットワークを確立 【交通・物流、情報通信】

・都市間や生産地と消費地をつなぐ交通ネットワークが整備され、効率的に移動・輸送ができるとともに、札幌のゲートウェイ機能が強化され、北海道新幹線の延伸効果が全道に波及していることを目指す。

未来像 ⑨ : 地域や遠隔消費地に必要なモノを届ける物流改革 【交通・物流、情報通信】

・イノベーションによる物流の効率化等によりコスト及び環境負荷を軽減し、地方部で暮らす人々の生活を支え、農水産物等の生産空間で生み出した北海道の価値を国内外に届けることを目指す。

未来像 ⑩ : 地方部まで高度なデジタル基盤を確立 【交通・物流、情報通信】

・Beyond5G(いわゆる6G)など高度な情報基盤が地方部まで整備され、地域住民の生活に不可欠なサービスをデジタル技術の活用により維持・確保するとともに、基幹産業等の高度化や地域の新しい産業の創出を目指す。

北海道のあるべき姿5 : 北方領土隣接地域の振興の実現

未来像 ⑪ : 安定した地域社会の形成 【地域づくり・まちづくり】【農林水産業・関連産業】【観光】【防災・減災、国土強靱化】

・北方領土隣接地域において、水産業や観光等の地域産業の活性化による地域振興、大規模地震対策など防災対策による地域防災力の強化等により、安定した地域社会が形成されることを目指す。

北海道の役割2 : 豊かな土地・水資源等を活かして我が国の食料安定供給を支える

北海道のあるべき姿6 : 高い食料生産力を有する農水産業・食関連産業

未来像 ⑫ : 極限まで効率化した生産体制で生産力を向上【農林水産業・関連産業】

・大区画化及びスマート技術等で極限まで生産が省力化しているとともに、飼料等の過度な輸入依存から脱却し、食料生産力の向上により我が国の農水産物の安定的な供給体制が実現されることを目指す。

未来像 ⑬ : 所得の倍増で新たな農水産業の担い手を確保【農林水産業・関連産業】

・スマート技術等によって極限まで生産コストが低減しているとともに、国内市場への安定供給を果たしながら高収益な生産体系に転換されている。また、幅広いアグリビジネスの展開によって農水産物の付加価値が最大化し、地域全体で所得が向上されることを目指す。

未来像 ⑭ : マーケットインのフードシステムの確立【農林水産業・関連産業】

・農水産物に関するデータを生産から流通・消費・販売に至るまでスマート・フードチェーンで連結され、多様化する消費者ニーズに対応できるフレキシブルなフードシステムが構築されることを目指す。

未来像 ⑮ : 多様な働き手がいつまでも働ける包容力のある農水産業の実現【農林水産業・関連産業】

・スマート化による農水産業の「誰でもできる化」や幅広い経営展開により、高齢者や障害者など様々な働き手が、兼業・副業等の様々な働き方で、いつまでも働き続けることができる産業構造へ転換されることを目指す。

未来像 ⑯ : 環境負荷を軽減して生物多様性を保全する持続可能な農水産業の実現【農林水産業・関連産業】

・農水産業の環境負荷が軽減され、欧州に匹敵する有機農業の生産地になるとともに、気候変動による様々な影響に適応した生産体制が構築されることを目指す。

北海道の役割3 : 豊富な地域資源を活かして我が国の脱炭素化を先導する

北海道のあるべき姿7 : 脱炭素社会を実現し、再生可能エネルギー基地となる

未来像 ⑰ : エネルギー基地の確立【エネルギー】

・北海道に豊富に賦存する再生可能エネルギーが地元の理解を得て最大限に活用されるとともに、北海道のみならず他地域を含めて活用されるエネルギー基地となることを目指す。

未来像 ⑱ : 水素社会の実現【エネルギー】

・再生可能エネルギーの貯蔵・輸送媒体として水素・アンモニア等を活用する水素社会を実現するとともに、水素関連企業による雇用創出など地域経済の活性化を目指す。

未来像 ⑲ : 徹底した省エネルギー社会の実現【エネルギー】

・国民の理解を得つつ、北海道の地域特性からCO₂排出量が多い家庭部門、運輸部門において徹底した省エネルギー化等の取組により省エネルギー社会の実現を目指す。

未来像 ⑳ : CO₂吸収源としての機能を最大限発揮し、我が国の脱炭素化に貢献【農林水産業・関連産業】【エネルギー】

・森林資源の整備・保全、スマート技術を活用した林業の活性化、自然が有する多様な機能を積極的に活用したインフラ整備等により、北海道の豊富な森林資源等を最大限に活用した脱炭素社会の実現を目指す。

北海道の役割4 : 国民共通の財産である北海道の**自然環境・文化**を受け継ぐ

北海道のあるべき姿8 : 北海道独自の文化を保全し、受け継ぐ

未来像 ⑳ : アイヌ文化の振興等を推進する 【文化】【観光】

- ・文化振興、地域振興等を含めたアイヌ政策を総合的かつ効果的に推進するとともに、アイヌ文化伝承活動等が盛んな地域と民族共生象徴空間(ウポポイ)との連携を図り、アイヌ文化復興等に関する取組を全国的に拡大する。

未来像 ㉑ : 北海道が世界に誇る北の縄文遺跡、近代の開拓文化等を保全・継承 【文化】【観光】【農林水産業・関連産業】

- ・開拓の歴史といった近代文化、北の縄文遺跡等に対する理解が醸成されるとともに、文化資源として活用した観光振興が定着し、文化が保全、継承されていることを目指す。

北海道のあるべき姿9 : 豊かな自然と共生する持続可能な社会を創造

未来像 ㉒ : 資源を最大限に利活用する循環型社会の形成 【自然環境の保全】【エネルギー】【防災・減災、国土強靱化】

- ・持続可能な地域社会の形成に向けて、リデュース、リユース、リサイクルを進めるとともに、廃棄物を資源として最大限活用することにより、循環型の地域を目指す。

未来像 ㉓ : 自然環境・景観の保全、グリーンインフラの活用による持続可能で強靱な国土の形成 【自然環境の保全】【エネルギー】【防災・減災、国土強靱化】

- ・自然環境・景観が保全されるとともに、地球温暖化対策及び防災・減災等の観点から進める北海道の地域特性を活かしたグリーンインフラの活用により、持続可能で強靱な国土が実現されることを目指す。

北海道の役割5 : 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる**強靱な国土づくり**を図る

北海道のあるべき姿10 : 大規模災害から生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持し、我が国の食やエネルギーの供給等を支える

未来像 ⑳ : 気候変動や大規模地震・津波等に対して安全・安心な地域社会を構築 【防災・減災、国土強靱化】【交通・物流、情報通信】【エネルギー】

・自然環境や農業等の北海道の地域特性を活かした流域治水や大規模地震・津波等からの避難体制が整備されるなど、あらゆる関係者の総力により防災・減災が主流となる安全・安心な地域社会の構築を目指す。

未来像 ㉑ : 人流や物流の確保と災害からの速やかな回復 【防災・減災、強靱化】【交通・物流、情報通信】【エネルギー】

・交通ネットワークの多重性・代替性や地域分散型エネルギーシステム等も含めた電力等のライフライン機能が確保され、被害の最小化と災害からの速やかな復旧・復興体制が整備される社会の実現を目指す。また、交通基盤等のインフラが持続可能な形で維持される体制を目指す。

未来像 ㉒ : 生産空間を守り基幹産業を災害時にも継続 【防災・減災、強靱化】【交通・物流、情報通信】【エネルギー】【農林水産業・関連産業】

・基幹産業の生産基盤や物流基盤の強化、航路も含めた輸送手段の代替性、事業の継続体制の確保等により、災害時にも基幹産業や食料の安定供給が継続できる体制が整備される社会の実現を目指す。

未来像 ㉓ : 積雪寒冷地特有の災害に対する脆弱性の克服 【防災・減災、国土強靱化】【交通・物流、情報通信】【エネルギー】

・暴風雪や大雪に対する冬期交通の安定性を確保するとともに、冬期に地震等の大規模災害が発生した場合に避難行動や復旧活動が困難になるなどの積雪寒冷地特有の被害の脆弱性を克服することを目指す。

北海道のあるべき姿11 : 切迫する大規模災害に対応した被災リスクの分散

未来像 ㉔ : 国家的規模の災害に対する被災リスクを最小化 【防災・減災、国土強靱化】

・企業の本社機能や生産拠点、データセンター等の道内への移転により北海道がリスク分散の受け皿となるとともに、国家的規模の災害時に北海道の食やエネルギー供給力による支援等の役割を最大限発揮することを目指す。

北海道の役割6 : 競争力のある産業を育成し日本の経済成長に貢献する

北海道のあるべき姿12 : 世界市場を見据えた「食」「観光」「再生可能エネルギー」産業の形成

未来像 ③⑩ : 世界市場に北海道ブランドを確立し、道産農水産物・食品の輸出を拡大 【農林水産業・関連産業】

- ・拡大する海外市場に向けて安定的な輸出を可能とする生産体制が構築されるとともに、北海道ブランドが確立され、道産農水産物・食品の輸出が拡大されることを目指す。

未来像 ③⑪ : 世界トップクラスの観光地を形成して世界市場に北海道ブランドを確立 【文化】【観光】【交通・物流、情報通信】

- ・安全・安心で速達性の高い移動環境の整備や多様な旅行者の受入環境整備、高付加価値の観光資源造成等により生産性の向上を目指す。また、文化遺産等地域文化の保全と観光を両立し、脱炭素化の取組、廃棄物の削減等を通じて持続可能な観光地の実現を目指す。

未来像 ③⑫ : 地方部に年間を通じた誘客の実現 【文化】【観光】

- ・地方部に誘客させるため、地方部への交通アクセス改善、アドベンチャートラベル等の新たな商品開発等を行うとともに、食、文化観光を推進することで、観光客の季節変動を小さくし、地方部への経済波及効果を高めることを目指す。

未来像 ③⑬ : 再生可能エネルギー関連産業の成長産業化 【産業の振興】

- ・北海道に豊富に賦存する再生可能エネルギーを活かした取組が展開され、我が国の脱炭素化に貢献するとともに、道内の再生可能エネルギー関連産業の振興、地域に雇用が創出されることを目指す。

未来像 ③⑭ : 地理的・気候的な優位性を活かした産業の創造 【産業の振興】

- ・北海道の広大な土地や気候等の地域特性や地域資源を活かした宇宙関連産業及びデジタル産業の振興、フードテックを活用した食関連産業及び温暖化に適応した農産物の導入等、新たな産業等の創出を目指す。